



小児も高齢者も、ワクチンで防ごう！肺炎球菌感染症

令和6年1月5日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

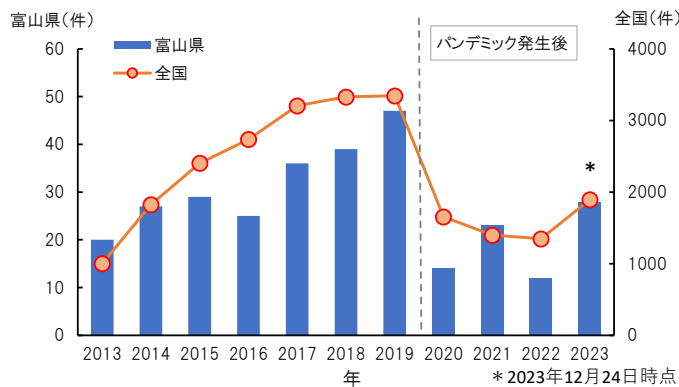
(令和5年第52週分・12月25日～12月31日)

《インフォメーション》

● 侵襲性肺炎球菌感染症

侵襲性肺炎球菌感染症 患者報告数

肺炎球菌は主要な呼吸器病原性の細菌であり、乳幼児の鼻咽頭に高頻度に保菌されています。本菌は主に飛沫によって小児から大人に伝播すると考えられており、小児や成人に菌血症を伴わない中耳炎、副鼻腔炎、肺炎などの非侵襲性感染症を起こします。一方、本菌はときに髄膜炎や菌血症を伴う肺炎などの侵襲性感染症を起こします。本菌が血液や髄液などの通常無菌的な部位から分離できた場合に侵襲性肺炎球菌感染症 (IPD) と診断されます。この IPD は 2013 年 4 月から届出対象疾患 (5 類全数把握疾患) になっており、その報告数の分布は 5 歳未満と 60 歳以上の 2 峰性になっています。また、インフルエンザ後に二次性肺炎球菌性肺炎が起こることもよく知られています。



IPD の患者報告数は、全国、富山県ともに 2013 年以降増加傾向でしたが、新型コロナウイルス感染症が流行した 2020 年から 2022 年には大きく減少しました (図参照)。これはマスク着用等の新型コロナウイルス対策の効果と考えられています。新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い感染対策の緩和が進んだ 2023 年の患者報告数は、第 51 週までに全国 1,893 件、富山県 28 件と、前年に比べてやや増加がみられました。

高齢者における IPD では、重症化し死に至ることもあります。抗菌薬治療は有効ですが、小児、高齢者において、肺炎球菌ワクチン接種による感染予防が重要です。

5 歳未満の小児に対しては 13 価肺炎球菌結合型ワクチンが 2013 年から定期接種として使用されており、生後 2 ヶ月から無料で接種できます (接種回数 4 回)。また、2014 年からは、65 歳以上の方および 60～64 歳で免疫不全などの基礎疾患を持つ方に対して、23 価肺炎球菌ポリサッカライドワクチンが定期接種となっています (接種回数 1 回)。65 歳以上の方は、接種時期 (年齢が 5 の倍数になる年度:65、70、75 歳～) が決められています。厚生労働省の [高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの定期接種について](#) をご確認ください。自治体から定期接種ワクチンの通知が来たら、忘れずに肺炎球菌ワクチンを接種しましょう。また、インフルエンザワクチンの接種も重要です。

《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 7 件 (①20 歳代、女性 ②30 歳代、男性 ③40 歳代、女性 ④80 歳代、男性 ⑤～⑦すべて 80 歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件 (30 歳代、女性、O 血清群不明、VT1)
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (50 歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	インフルエンザ	20.90 (↓)	28.13
2 位	COVID-19	6.54 (↑)	5.63
3 位	感染性胃腸炎	6.03 (↓)	6.41
4 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.93 (↓)	6.62
5 位	咽頭結膜熱	4.55 (↓)	6.45
6 位	流行性角結膜炎	0.71 (↑)	0.43



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第52週 令和5年12月25日～令和5年12月31日）

分類	疾患	今週報告分（第52週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核			4		3	7	6	6	33	10	67	122	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1			1	1		6	3	18	28	
	四類感染症	E型肝炎									1				1
		オウム病										1			1
		つつが虫病												2	2
		日本紅斑熱												1	1
		レジオネラ症								4	1	19	1	12	37
	五類感染症	アメーバ赤痢												2	2
		ウイルス性肝炎										1			1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症										12	2	14	28
		急性脳炎											1	2	3
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症										6	1	6	13
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）												1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症										2	2	10	14
		侵襲性肺炎球菌感染症			1				1		2	7	3	17	29
		水痘（入院例）									1		1	5	7
梅毒										1	5	3	15	24	
播種性クリプトコックス症									1					1	
破傷風											1			1	
百日咳													5	5	
インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）		インフルエンザ	155	115	197	140	396	1,003	1,714	2,124	6,280	2,661	8,688	21,467	
		COVID-19（※1）	59	33	76	66	80	314	2,049	1,249	3,534	1,816	3,277	11,925	
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1					1	90	121	661	261	594	1,727		
	咽頭結膜熱	4	10	62		56	132	174	142	1,185	71	721	2,293		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	11	87	5	65	172	119	122	1,669	119	1,694	3,723		
	感染性胃腸炎	23	8	33	11	100	175	997	911	1,641	1,058	5,347	9,954		
	水痘			3	2	3	8	4	22	53	21	73	173		
	手足口病	1	3	5		1	10	71	128	562	208	388	1,357		
	伝染性紅斑							1		3		6	10		
	突発性発しん		1	4			5	15	35	142	33	100	325		
	ヘルパンギーナ	3				1	4	144	143	833	104	584	1,808		
	流行性耳下腺炎							1	2	13	7	18	41		
	眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎		1	1	3		5	7	10	39	10	12	78	
		細菌性髄膜炎											2	1	3
	基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎												2	2
マイコプラズマ肺炎									1	8	2		11		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）											5		5		
入院サーベイランス（5定点）		インフルエンザによる入院患者（※2）			2	5	4	11	4	7	19	26	26	82	
	COVID-19による入院患者（※3）	11	4	3	9	6	33	36	52	23	56	134	301		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。
 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。 ※3 COVID-19による入院患者累計報告数は、令和5年第39週（9月25日）～の集計です。

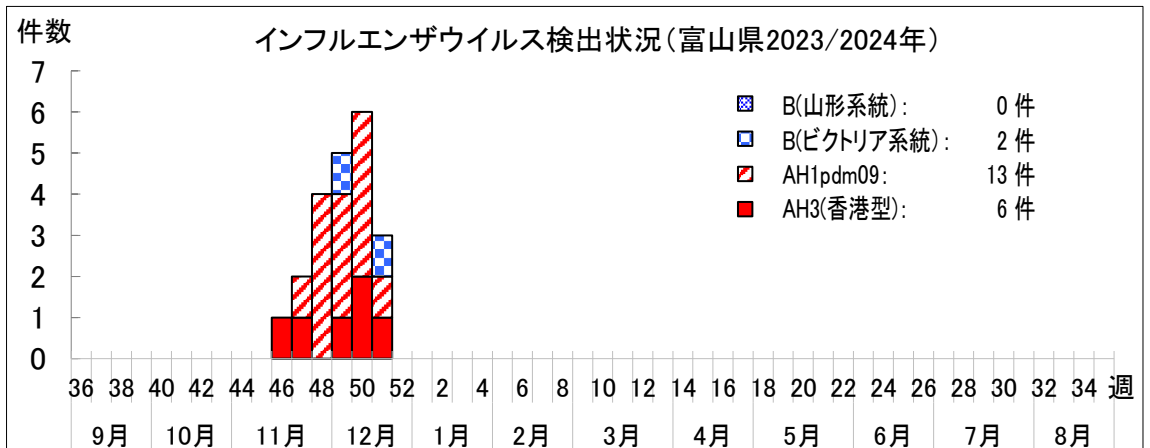
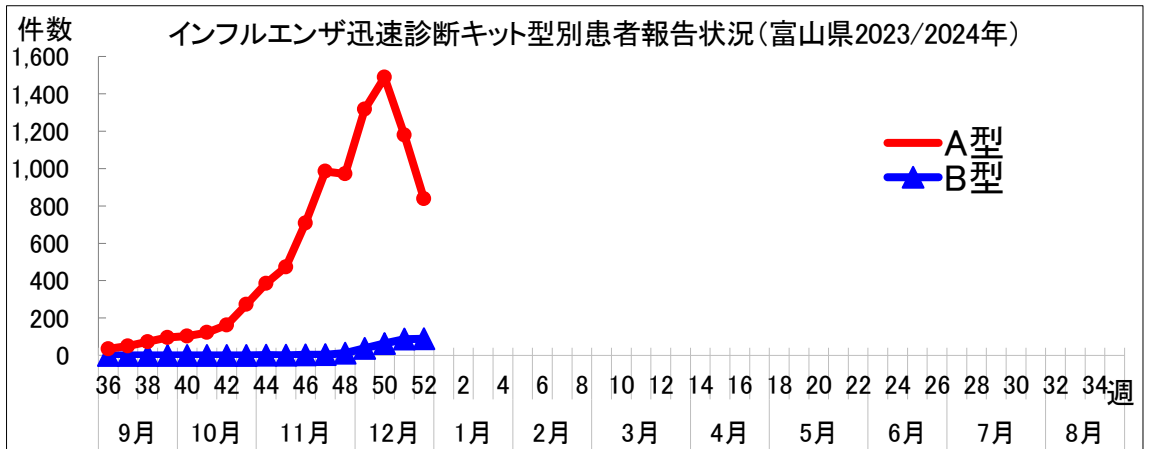
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が83.5%となっています。

第52週(12/25~12/31)：富山県 20.90人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	147	0	8	155
中部	5 / 5	99	0	16	115
高岡	13 / 13	175	1	21	197
砺波	7 / 7	138	1	1	140
富山市	14 / 16	279	87	30	396
富山県	45 / 48 ^{※1}	838	89	76	1,003
富山県累計(2023年36週~)		9,259	300	550	10,109

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が45か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





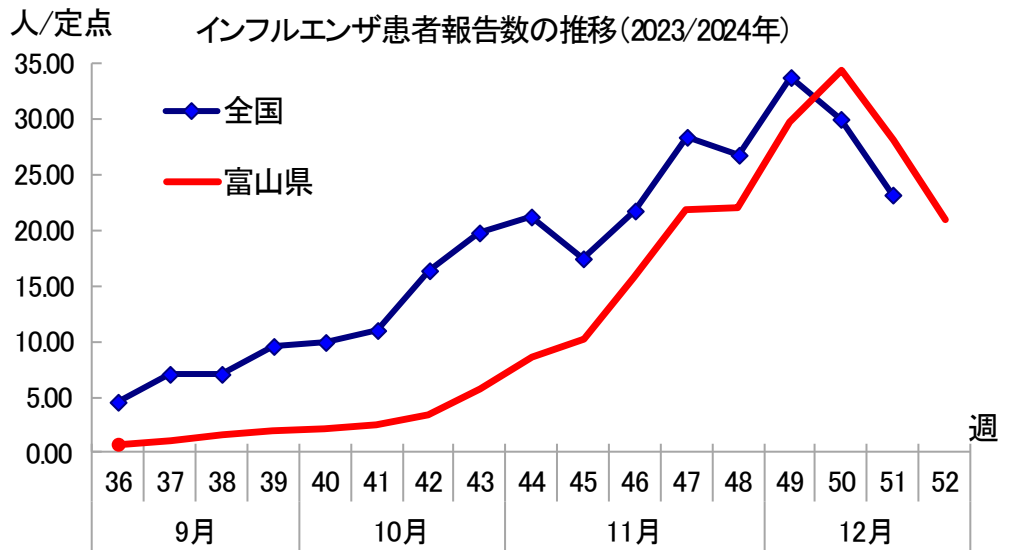
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第52週 (12/25~12/31) : 富山県 20.90 人/定点

新川 HC (22.14)、中部 HC (23.00)、高岡 HC (15.15)、砺波 HC (20.00)、富山市 HC (24.75)

全国の患者報告数は、第51週に23.13人/定点となり、前週と比較して減少しました。

県内の患者報告数は今週20.90人/定点となり、全国と同様に減少しました。

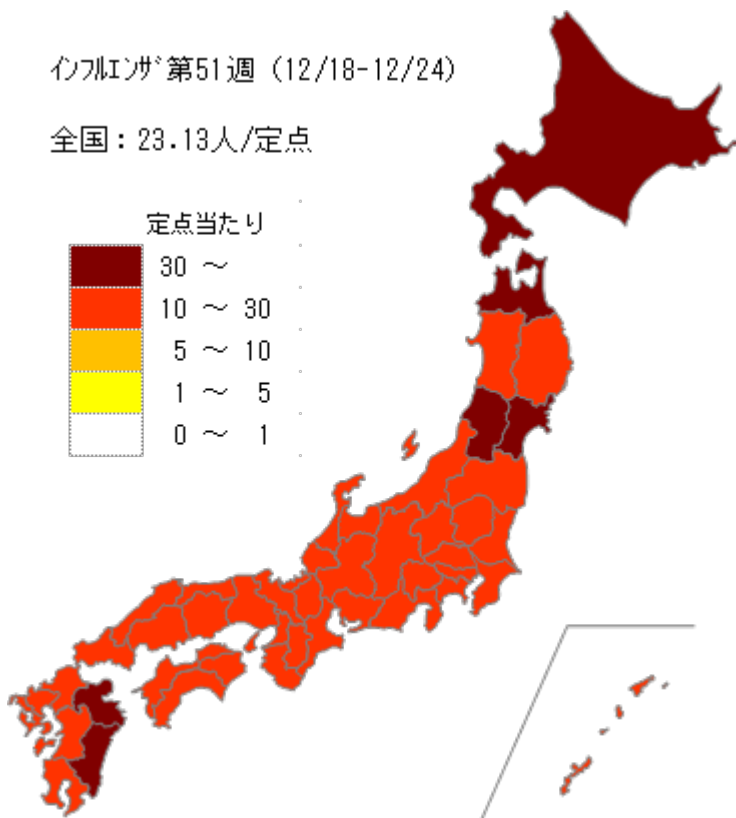
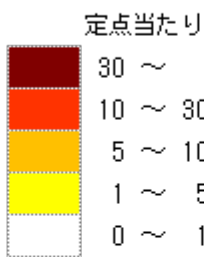


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第51週 (12/18~12/24)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり23.13人となり、前週の29.95人より減少しました。45都道府県で前週より減少しています。

インフルが第51週 (12/18-12/24)

全国：23.13人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	36.66 ↓	滋賀県	17.48 ↓
青森県	31.05 ↑	京都府	17.01 ↓
岩手県	29.92 ↓	大阪府	15.77 ↓
宮城県	39.05 ↓	兵庫県	19.12 ↓
秋田県	18.98 ↓	奈良県	19.09 ↓
山形県	30.51 ↓	和歌山県	19.31 ↓
福島県	25.04 ↓	鳥取県	15.10 ↓
茨城県	23.84 ↓	島根県	16.89 ↓
栃木県	20.24 ↓	岡山県	14.89 ↓
群馬県	23.29 ↓	広島県	20.07 ↓
埼玉県	25.32 ↓	山口県	25.88 ↓
千葉県	25.30 ↓	徳島県	21.81 ↓
東京都	18.08 ↓	香川県	20.13 ↓
神奈川県	22.10 ↓	愛媛県	16.26 ↓
新潟県	25.74 ↓	高知県	25.25 ↓
富山県	28.13 ↓	福岡県	24.79 ↓
石川県	22.69 ↓	佐賀県	19.67 ↓
福井県	18.64 ↓	長崎県	24.63 ↓
山梨県	21.00 ↓	熊本県	28.61 ↓
長野県	19.85 ↓	大分県	37.67 ↓
岐阜県	16.79 ↓	宮崎県	44.43 ↓
静岡県	20.37 ↓	鹿児島県	25.78 ↓
愛知県	25.48 ↓	沖縄県	11.20 ↑
三重県	29.62 ↓	全国	23.13 ↓